

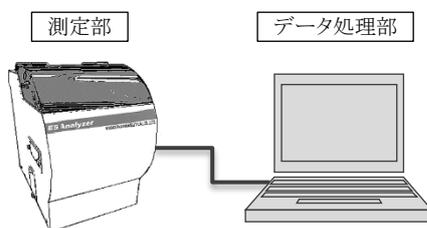
ES アナライザー

ES Analyzer

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本装置は干渉フィルター（バンドパスフィルター）により得られる特定波長の光の吸光度を測定する測定部と、測定部にて得られた吸光度を分析して定量等を行うデータ処理部から構成されます。データ処理部は測定部の制御も行います。



2. 装置寸法・重量

寸法：189mm(W) × 310mm(D) × 280mm(H)
(突起物含まず)

重量：約8.5kg

3. 電氣的定格

電源電圧：AC100V

電源周波数：50/60Hz

消費電力：220VA (測定部)

4. 仕様

- 1) 測定波長： 405nm/492nm (標準装備)
- 2) 測光間隔： 1波長モード 5秒
2波長モード 10秒
- 3) 測定レンジ： 0.000～1.500OD
(1.5OD以上は参考値として表示)
- 4) 適合容器： 専用バイアルφ11.5×65mm
- 5) 温度制御精度：37°C±0.5°C
- 6) 通信ポート： RS232C規格準拠シリアルポート
(9ピン)

5. 原理

吸光度測定法

【使用目的又は効果】

使用目的

本装置は液体中の物質の光度（光学）的特性を測定することにより、物質濃度を定量する装置です。診断および研究を使用用途とします。

【使用方法等】

1. 設置条件

- 1) 設置台が水平であること。（勾配1/200以下）
- 2) 設置台の強度が測定部及びデータ処理部の総重量に耐えること。
- 3) 装置に直射日光が当たらない場所。
- 4) 水や薬品のかからない場所。
- 5) 塵埃の少ない場所。
- 6) 振動がない場所。
- 7) 電気設備技術基準D種に従う接地ができること。
- 8) 近くに電磁ノイズ・電磁波を出す装置がないこと（例：遠心機、放電装置、携帯電話、トランシーバー、コードレス電話等）。
- 9) 雑音防止装置のない電動器（スターラ、パイプレータ等）と同一電源ラインから電源を取らないこと。

2. 使用環境条件

温度：15～35°C

湿度：45～80%RH (但し結露なきこと)

3. 使用方法

1) 測定及び分析の準備

- ① 装置(測定部)のバイアル挿入口内部に異物の混入がないか確認します。
- ② 装置(測定部)背面の電源スイッチを「ON」にします。
- ③ データ処理部の制御・解析ソフトを立ち上げます。
- ④ 測定条件を確認します。(データ処理部)
- ⑤ 測定に必要な試薬を用意し、バイアルに分注します。
- ⑥ バイアルをセットします。

2) 測定の実施

- ① 光源ランプのウォームアップが終了しているか確認します。
- ② 測定を開始します。

3) 測定結果及び分析結果の処理

- ① 測定結果の確認をします。
- ② 測定結果の分析を行います。

4) 終了操作

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ① 装置(測定部)背面の電源スイッチを「OFF」にします。
- ② 装置(測定部)のバイアル挿入口内部に異物の混入がないか確認します。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本装置の取扱説明書をよく読み、操作作業の内容を十分に理解した上で作業を行ってください。
- 2) 故障したときには販売元にご連絡ください。
- 3) 取扱説明書に書かれていない操作や、分解、清掃などはしないでください。
- 4) 装置は改造しないでください。
- 5) 感染を防ぐため、下記の操作や保守を実施時には必ず検査室用保護手袋（以下、保護手袋）・保護眼鏡・保護衣などを着用してください。また、試料や廃液が身体に付着した場合には、水洗いと消毒を実施し、医師の診断を受けてください。
 - ・ 試料や廃液を取り扱う際
 - ・ 保守点検を実施する際
- 6) 光源ランプの光による目の負傷を防ぐため、光源ランプを裸眼で直視しないでください。
- 7) 光源ランプのガラス面への接触によるやけどを防ぐため、ランプを交換するときは、装置の電源を切り、30分以上待ち、ランプが冷えたことを確認してから行ってください。
- 8) 装置内部には、高電圧の部分があります。感電を防ぐためカバーを外さないでください。

2. その他の注意

- 1) 装置上への試料や試薬こぼしによる装置故障を防ぐため、装置の上には試料や試薬などの液体を置かないでください。
- 2) 検体や廃液の処理不良を防ぐため、関連法令および条例に従って、正しく処理して下さい。
- 3) 電磁波ノイズによってデータに影響を受けたり、装置が誤動作を起こしたりする恐れがあります。本装置の近傍で携帯電話、トランシーバー、コードレス電話などの電波を出す機器を使用しないでください。
- 4) 本装置使用前後に装置の状態を確認して下さい。
 - ①使用前
コードの接続、アースが正しく行われていることを確認してください。
 - ②使用后
測定済みのバイアルが取り出してあるか確認してください。
電源スイッチが「OFF」になっているか確認してください。

【保管方法及び有効期間】

1. 貯蔵・保管方法

本装置は、常温・常湿で保管して下さい。

2. 使用有効期間（耐用年数）

標準使用条件下で装置を使用し、取扱説明書で定めた定期的な保守・点検、保守部品の交換、および点検結果により修理またはオーバーホールを実施した場合の耐用年数は、使用開始(据え付け)後7年です。
[自己認証(当社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

1. 定期交換部品

- ・ 光源ランプ 点灯時間1000時間ごと

2. 業者による保守点検事項

装置の性能、安全性維持のため、業者による保守点検が必要です。以下に詳細な点検項目を示します。

- ・ 外観（ラベルを含む）
 - ・ 干渉フィルターの劣化
 - ・ 干渉フィルターの動作確認
 - ・ 光源ランプの電圧
 - ・ 測光線り返し精度
 - ・ 測光正確さ
 - ・ 温度精度
 - ・ 電源ユニットの出力電圧
 - ・ 電源の汚れ、ほこり
 - ・ 基板の汚れ、ほこり
 - ・ 測定部の汚れ、ほこり
 - ・ 部品取り付け
 - ・ 感電対策
 - ・ 漏電対策
- 各1年ごと

【問い合わせ先】

日水製薬株式会社 カスタマーサポート
※東京都台東区上野3-24-6
03-5846-5707

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【販売業者】

日水製薬株式会社
※東京都台東区上野3-24-6
03-5846-5611（代表）

【製造販売業者】

株式会社サイニクス
東京都板橋区中丸町49-6
03-3956-7995（代表）

取扱説明書を必ずご参照ください。